

市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

【調査の目的】

令和2年7月豪雨により被害を受けましたが、復興・復旧に関する市民の意向を把握するため、市民アンケート調査を実施します。市民アンケート調査結果については、人吉市復興計画の策定の基礎資料とします。

【調査の概要】

調査地域：人吉市全域

調査対象者：人吉市内在住の18歳以上の方から抽出した2,000人

調査期間：令和2年10月13日から令和2年10月30日

調査方法：原則として郵送配布・郵送回収

配布数	有効回収数	所在不明	有効回収率
2,000	1,065	9	53.5%

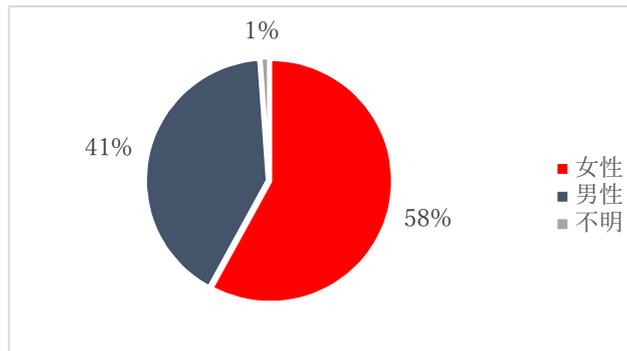
【調査内容】

別紙のアンケート調査票のとおり27問

【調査結果】

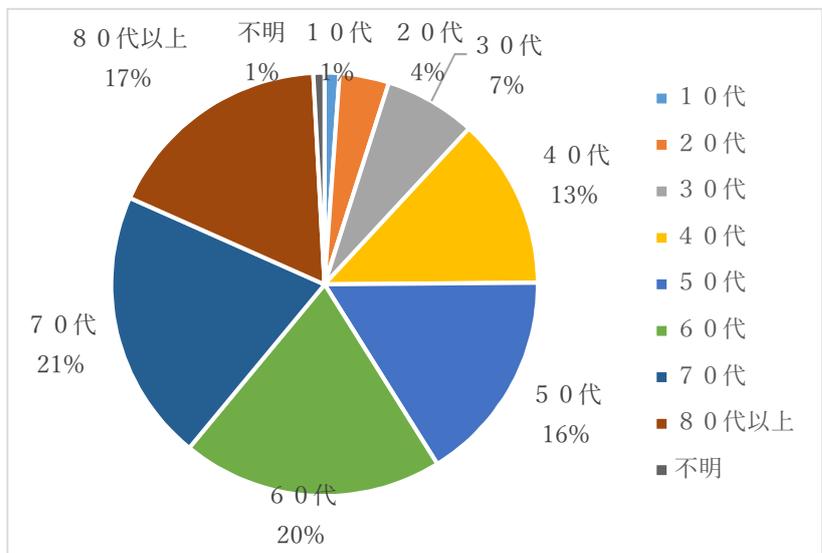
問1 あなたの性別について

回答種類	件数内訳 / 問1
女性	617
男性	436
不明	12
総計	1065



問2 あなたの年齢について

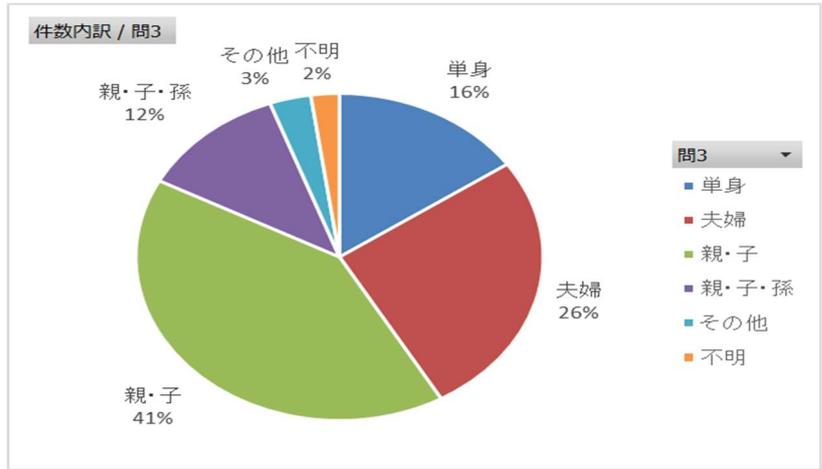
回答種類	件数内訳 / 問2
10代	12
20代	40
30代	74
40代	139
50代	173
60代	211
70代	221
80代以上	186
不明	9
総計	1065



市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

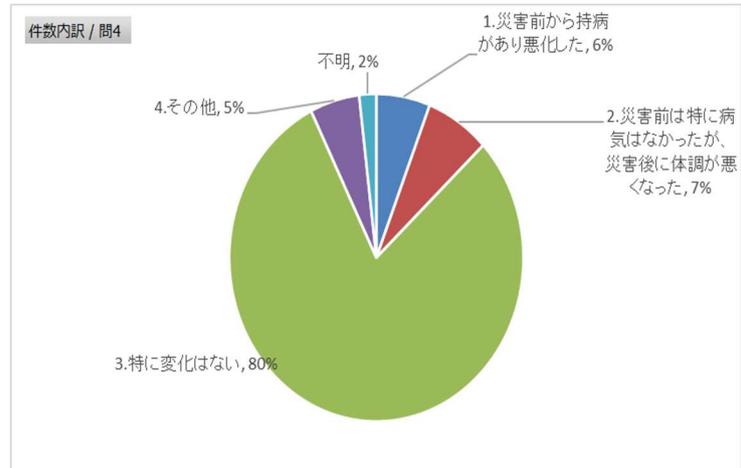
問3 7月豪雨災害前のあなたの世帯構成と世帯人数について

回答種類	件数内訳 / 問3
単身	164
夫婦	280
親・子	437
親・子・孫	125
その他	35
不明	24
総計	1065



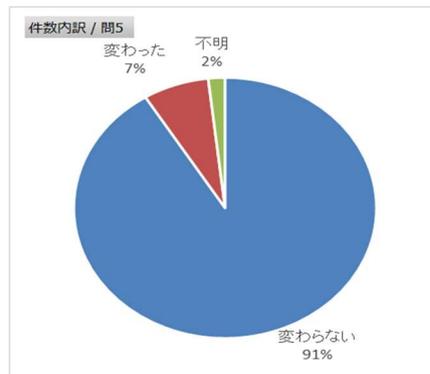
問4 あなたの現在の健康状態について

回答種類	件数内訳 / 問4
1.災害前から持病があり悪化した	63
2.災害前は特に病気はなかったが、災害後に体調が悪くなった	75
3.特に変化はない	849
4.その他	58
不明	20
総計	1065



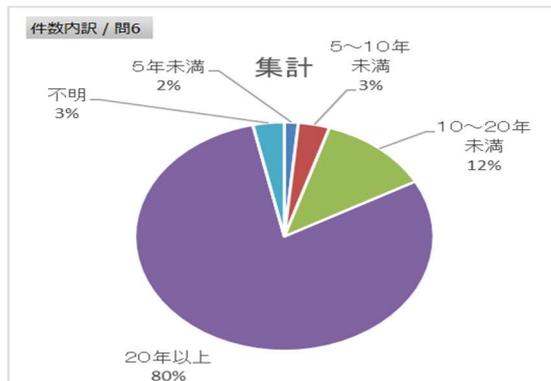
問5 7月豪雨災害前と現在では、あなたの世帯構成は変わりましたか。

回答種類	件数内訳 / 問5
変わらない	971
変わった	75
不明	19
総計	1065



問6 あなたの人吉市の居住年数について（通算）

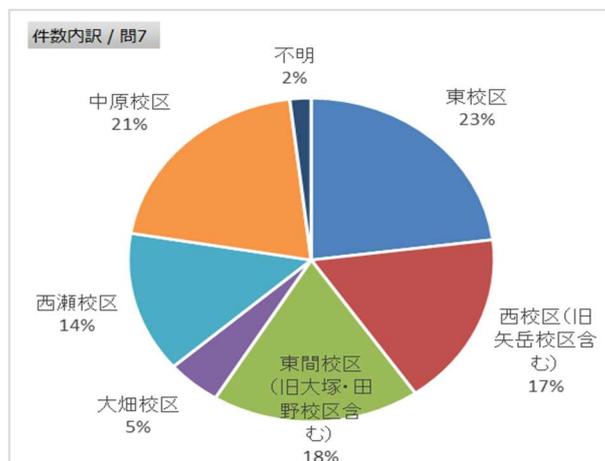
回答種類	件数内訳 / 問6
5年未満	16
5～10年未満	36
10～20年未満	129
20年以上	848
不明	36
総計	1065



市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

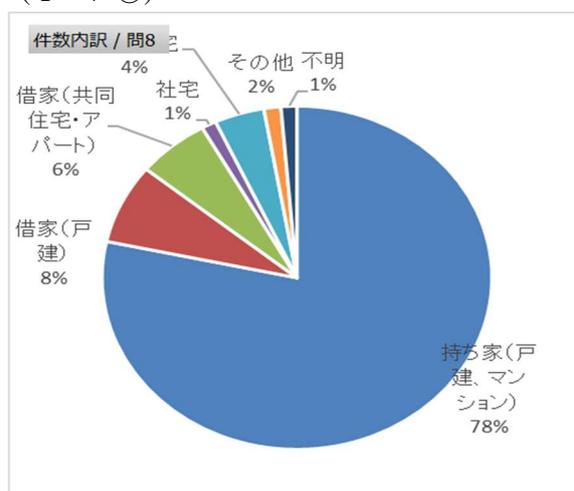
問7 7月豪雨災害前のあなたのお住まいの校区と町名を教えてください。

回答種類	件数内訳 / 問7
東校区	245
西校区(旧矢岳校区含む)	185
東間校区(旧大塚・田野校区含む)	196
大畑校区	51
西瀬校区	150
中原校区	218
不明	20
総計	1065



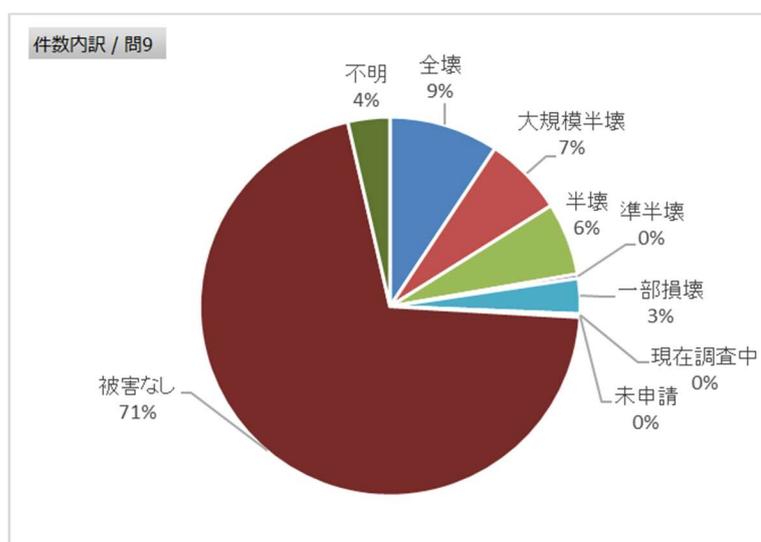
問8 7月豪雨災害前のあなたのお住まいの形態について(1つに○)

回答種類	件数内訳 / 問8
持ち家(戸建、マンション)	835
借家(戸建)	80
借家(共同住宅・アパート)	64
社宅	13
市営住宅	44
その他	15
不明	14
総計	1065



問9 7月豪雨災害におけるあなたのお住まいの被災状況について(り災証明の内容)(1つに○)

回答種類	件数内訳 / 問9
全壊	99
大規模半壊	72
半壊	66
準半壊	4
一部損壊	32
現在調査中	1
未申請	2
被害なし	751
不明	38
総計	1065



市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

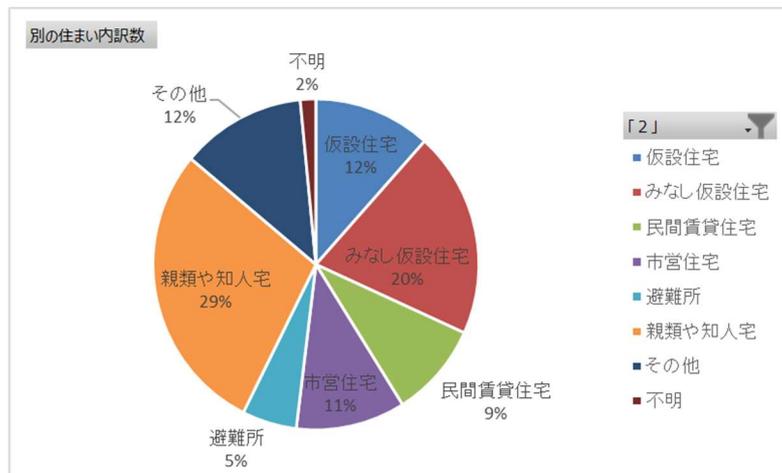
問10 現在のお住まいについて（1つに○）

問10	件数内訳 / 問10
同じ住まい	140
別の住まい	129
不明	7
総計	276



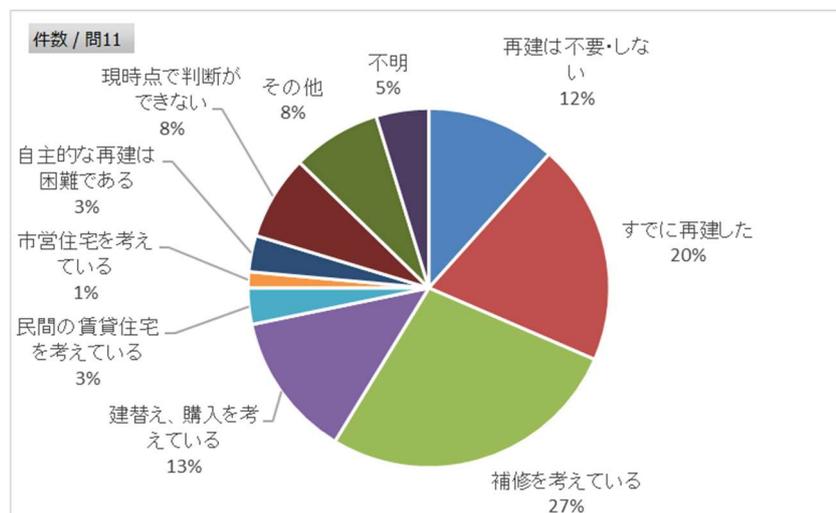
「別の住まい」を選択された方は、現在の住まいの種類にも○をつけてください

別の住まい内訳	別の住まい内訳数
仮設住宅	15
みなし仮設住宅	26
民間賃貸住宅	12
市営住宅	14
避難所	7
親類や知人宅	37
その他	16
不明	2
総計	129



問11 お住まいの再建状況について（1つに○）

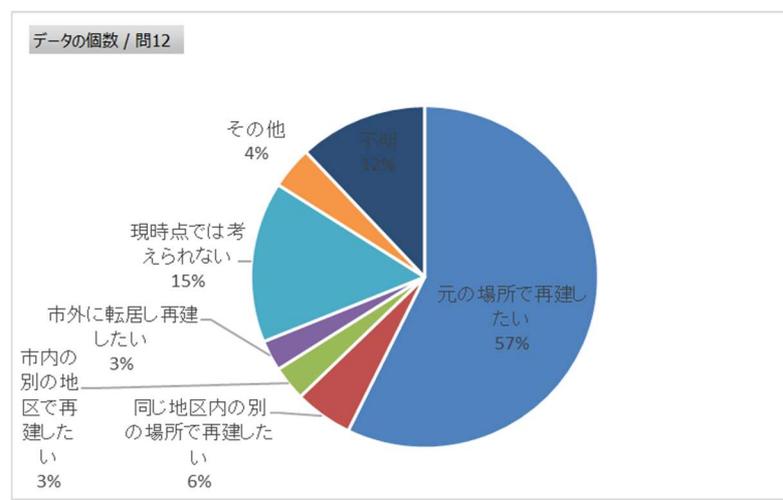
再建状況内訳	件数 / 問11
再建は不要・しない	32
すでに再建した	55
補修を考えている	75
建替え、購入を考えている	36
民間の賃貸住宅を考えている	9
市営住宅を考えている	4
自主的な再建は困難である	9
現時点で判断ができない	21
その他	22
不明	13
総計	276



市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

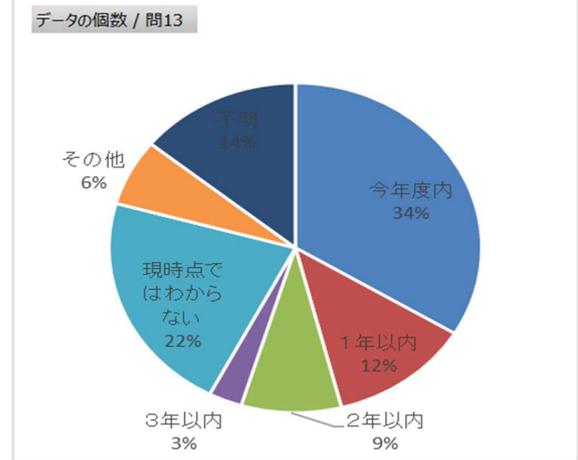
問12 これからの住まいの再建場所について、現時点でのあなたの考えに最も近いもの（1つに○）

問12	データの個数 / 問12
元の場所で再建したい	158
同じ地区内の別の場所で再建したい	15
市内の別の地区で再建したい	9
市外に転居し再建したい	8
現時点では考えられない	42
その他	11
不明	33
総計	276



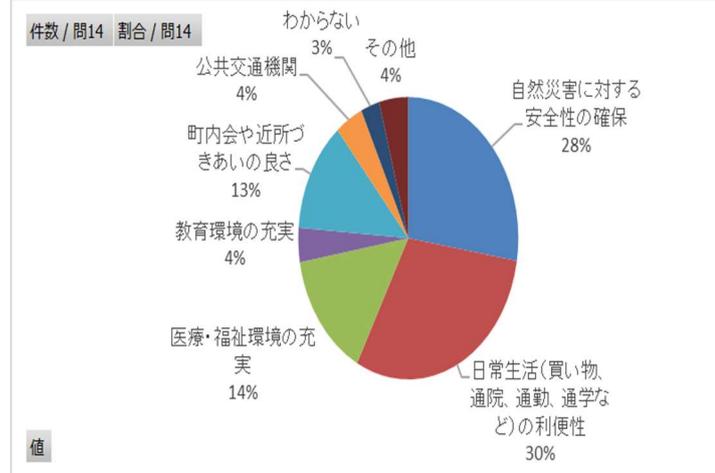
問13 お住まいを再建する期間、目処について（R2.10月時点からの期間でお答えください）（1つに○）

問13	データの個数 / 問13
今年度内	93
1年以内	34
2年以内	24
3年以内	8
現時点ではわからない	60
その他	18
不明	39
総計	276



問14 お住まいの再建場所を決めるうえで、特に重視することについて（特に重要と思う3つに○）

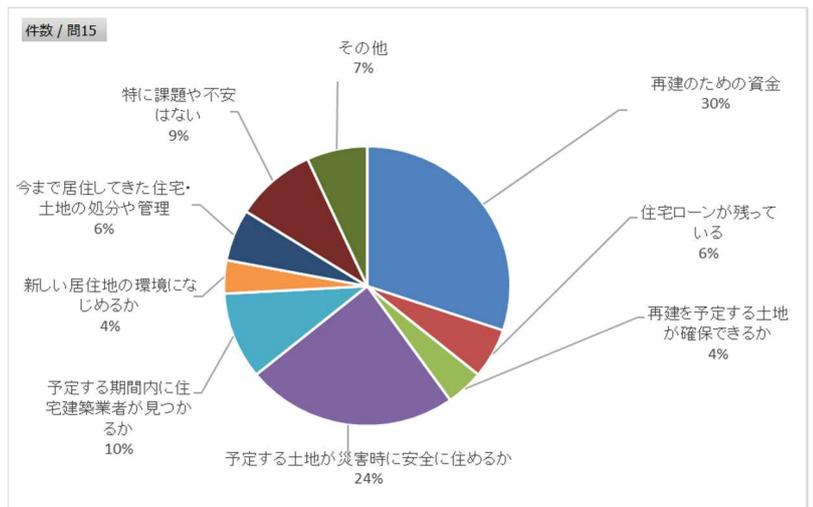
再建場所の重視項目	件数 / 問14
自然災害に対する安全性の確保	161
日常生活（買い物、通院、通勤、通学など）の利便性	176
医療・福祉環境の充実	85
教育環境の充実	23
町内会や近所づきあいの良さ	74
公共交通機関	24
わからない	16
その他	25
総計	584



市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

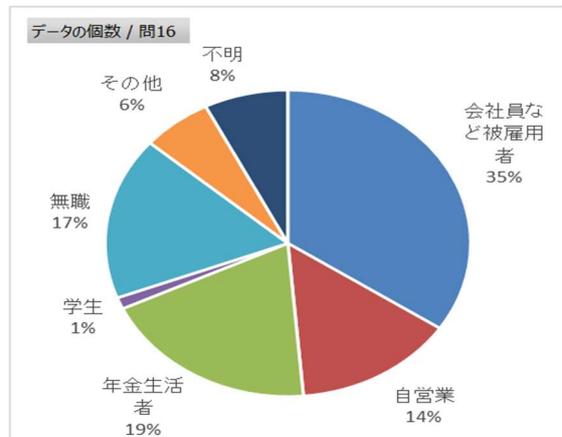
問15 お住まいを再建するにあたり、特に課題や不安を感じていることについて（特にあてはまる3つに○）

再建の課題や不安	件数 / 問15
再建のための資金	141
住宅ローンが残っている	27
再建を予定する土地が確保できるか	20
予定する土地が災害時に安全に住めるか	112
予定する期間内に住宅建築業者が見つかるか	47
新しい居住地の環境になじめるか	18
今まで居住してきた住宅・土地の処分や管理	28
特に課題や不安はない	43
その他	32
総計	468



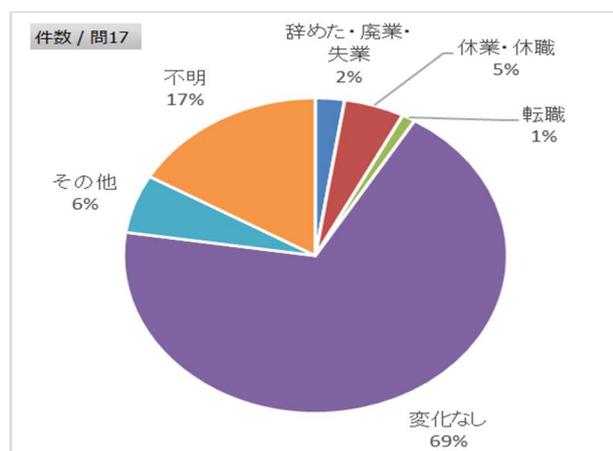
問16 7月豪雨災害前の主たるお仕事について（職種）（1つに○）

職種	データの個数 / 問16
会社員など被雇用者	366
自営業	152
年金生活者	206
学生	13
無職	183
その他	66
不明	79
総計	1065



問17 7月豪雨災害後のお仕事の変化について（1つに○）

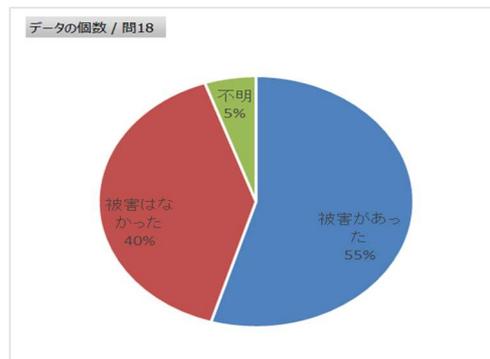
仕事の変化	件数 / 問17
辞めた・廃業・失業	26
休業・休職	54
転職	12
変化なし	732
その他	64
不明	177
総計	1065



市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

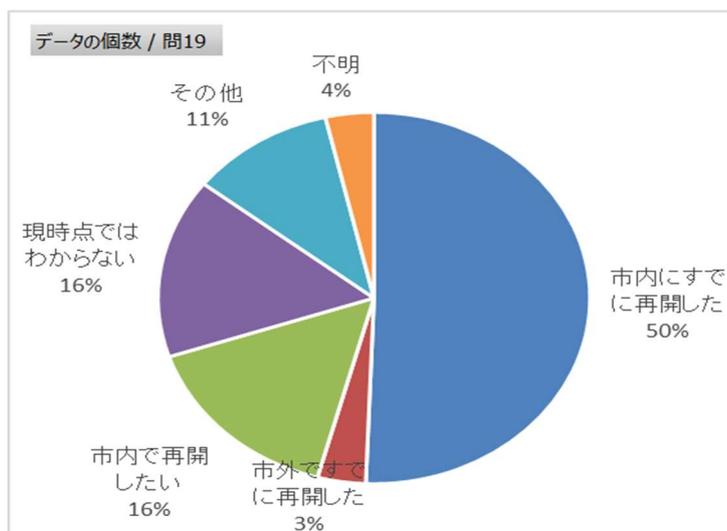
問 18 事業への被害状況について（1つに○）

被害状況	データの個数 / 問 18
被害があった	83
被害はなかった	61
不明	8
総計	152



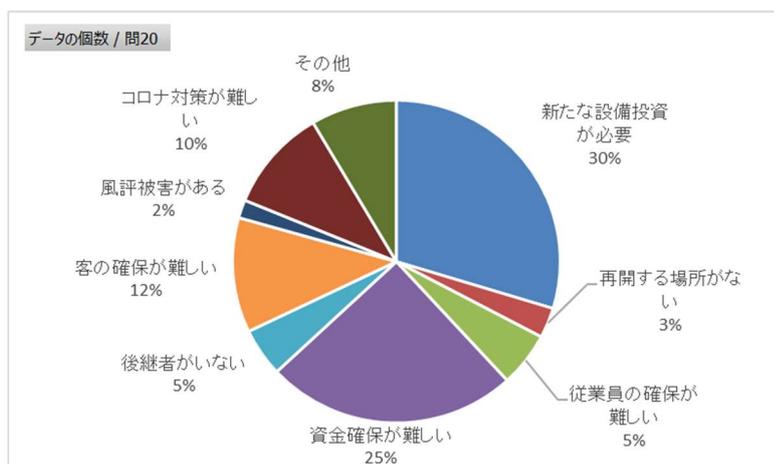
問 19 事業の再開目処について（1つに○）

再開目途	データの個数 / 問 19
市内にすでに再開した	42
市外ですでに再開した	3
市内で再開したい	13
現時点ではわからない	13
その他	9
不明	3
総計	83



問 20 事業を再開するうえでの課題や不安について（あてはまるものすべてに○）

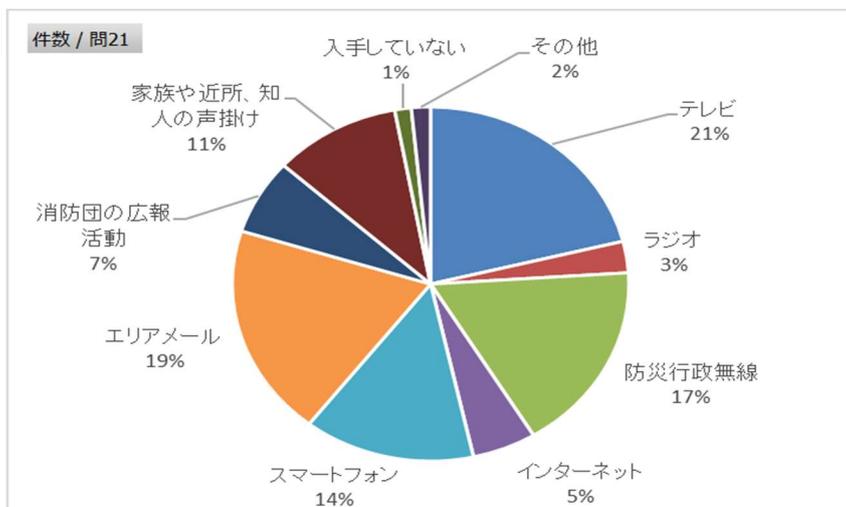
課題と不安	データの個数 / 問 20
新たな設備投資が必要	49
再開する場所がない	5
従業員の確保が難しい	9
資金確保が難しい	41
後継者がいない	8
客の確保が難しい	19
風評被害がある	3
コロナ対策が難しい	17
その他	14
総計	165



市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

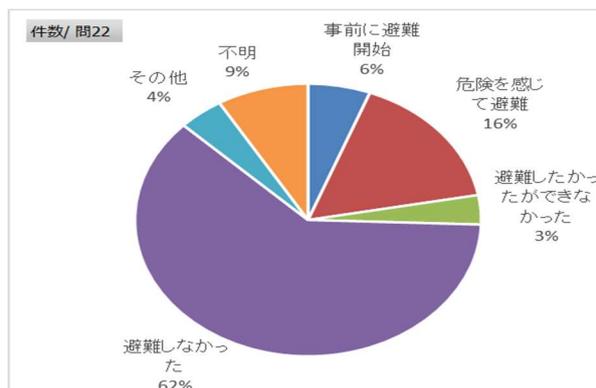
問21 7月豪雨災害時において、避難情報（避難勧告や避難指示など）はどこから入手しましたか。
（あてはまるものすべてに○）

避難情報	件数 / 問21
テレビ	502
ラジオ	68
防災行政無線	412
インターネット	124
スマートフォン	332
エリアメール	460
消防団の広報活動	163
家族や近所、知人の声掛け	247
入手していない	32
その他	37
総計	2377



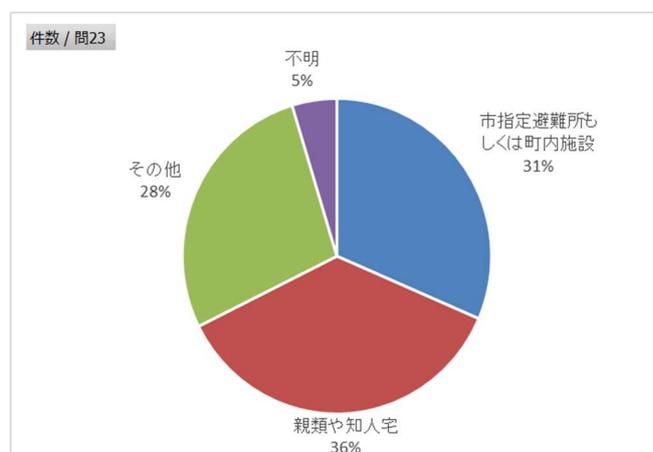
問22 7月豪雨災害において、あなたはどのように対応しましたか。（1つに○）

対応	件数 / 問22
事前に避難開始	62
危険を感じて避難	173
避難したかったができなかった	37
避難しなかった	657
その他	45
不明	91
総計	1065



問23 7月豪雨災害において、どこに避難しましたか。（1つに○）

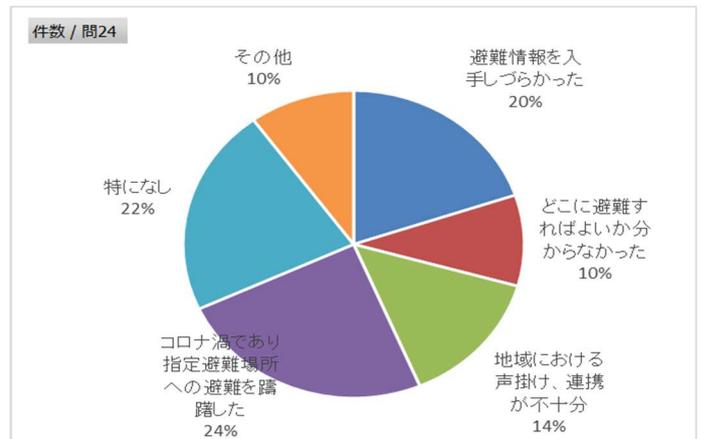
避難場所	件数 / 問23
市指定避難所もしくは町内施設	74
親類や知人宅	85
その他	65
不明	11
総計	235



市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

問 24 避難に際して問題と感じたことはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

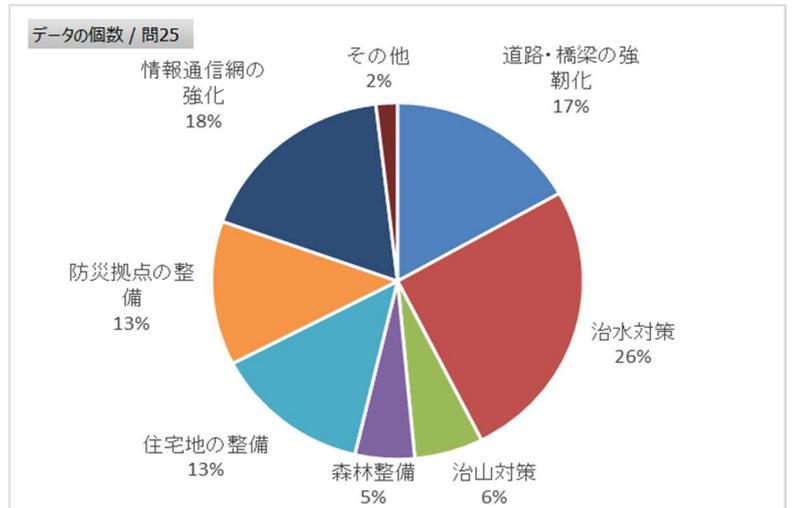
問題	件数 / 問 24
避難情報を入手しづらかった	236
どこに避難すればよいか分からなかった	114
地域における声掛け、連携が不十分	170
コロナ禍であり指定避難場所への避難を躊躇した	291
特になし	261
その他	119
総計	1191



問 25 防災対策として特に必要と考えるハード対策（施設整備など）は何だと考えますか。

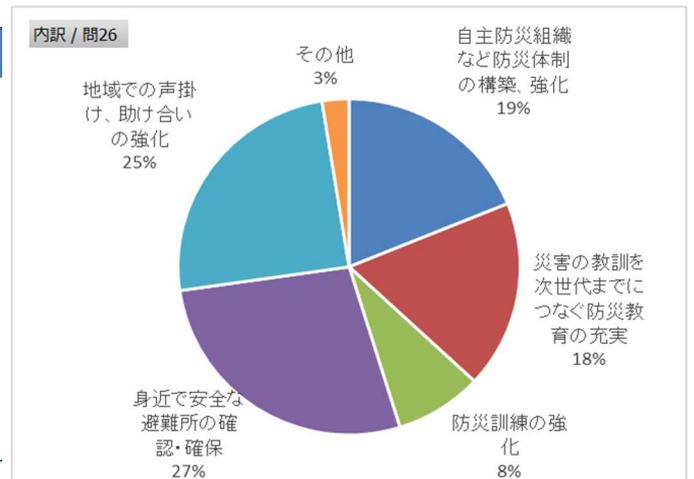
(特に必要と思うこと3つに○)

ハード対策	データの個数 / 問 25
道路・橋梁の強靱化	396
治水対策	606
治山対策	141
森林整備	122
住宅地の整備	322
防災拠点の整備	308
情報通信網の強化	417
その他	44
総計	2356



問 26 防災対策として特に必要と考えるソフト対策（防災のための情報発信や体制づくりなど）は何だと考えますか。(特に必要と思うこと3つに○)

ソフト対策	内訳 / 問 26
自主防災組織など防災体制の構築、強化	467
災害の教訓を次世代までにつなぐ防災教育の充実	447
防災訓練の強化	205
身近で安全な避難所の確認・確保	682
地域での声掛け、助け合いの強化	612
その他	63
総計	2476



市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

問 27① 人吉に安心して住み続けるために必要なことは何だと考えますか。

	内容	詳細（一部抜粋）
1	治水対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年、梅雨時期までに、洪水を繰り返さない様に球磨川や支流の治水の強化を間に合わせてもらわないと安心出来ません。 ・ 治水対策の強化。ダムの急な放水の判断。陸の孤島にならないための219号線の道路整備、強化。 ・ 球磨川の氾濫は避けられない。共生するための方策を考えるべき。川辺川ダムに頼らない治水。 ・ 川辺川ダム建設。その他の球磨川の治水ダムの建設。 ・ 浸水が予想される地域では自宅をかさ上げしたり水害保険に加入することや定期的に避難訓練をするなどの自分出来る治水対策。住み続けることができるのではないかと思う。 ・ 治水対策をどうしていくのか。世界的な異常気象(温暖化)で、過去のデータもあてにならないのでは？今回の雨量に対応するためにはどうするのか、専門家の意見が必要だと思えます。 ・ 治水や森林整備は大切です。でもそれがダムを作ったら安全につながるということではないと思えます。いざ災害にあうかもという時は防災無線（家ごとに設置している薩摩川内）や自分たちの意識も変えるということも必要かと。
2	防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な防災対策をわかり易く常に情報をキャッチできる。 ・ 仲良くする。協力する。町内をよくまとめる。 ・ 安心、安全な避難拠点の強化。拠点作り。 ・ 市民一体の協力 ・ 意見交換ができるよう機会を作る。不安なこと今回の災害を受けて気を付けることなど。誰でも集まれるような場所の確保。安心することのできて避難所にもなる。 ・ 行政に頼らない一人一人の自立 ・ 個人の防災意識。 ・ 防災設備の拡充。避難の為に活用する防災無線。防災ラジオの各戸設備。 ・ ハードよりまずはソフト面（防災意識の向上）に努めてほしい。水害だけが災害ではない。 ・ ハザードマップ、高齢者が多いので助け合いが必要。特に一人のお年寄りはどうすればよいのかわかりやすい仕組みが必要と思えます。 ・ 自然災害に対する知識
3	インフラ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肥薩線や球磨川鉄道の復活を早くしてもらいたい。 ・ 台風や豪雨等水害対策も欠かせないが、災害に強いインフラ整備も重要。 ・ インターネットが繋がらない。オンライン授業が増加する中で、インターネットが繋がらない所があるのは本当に困る。設備を整えて、インターネットが繋がる地域を100%にして欲しい。 ・ 交通網の整備（JR、くま川鉄道、路線バス等）復旧 ・ 古い建物、狭い道路が多いので復興や改善が必要。 ・ 無線が本当に聞き取りづらかった（ネット系もダウンしていた）かなり不安があったと思うので優先にしてほしい。

市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

4	雇用対策	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が働ける場所 ・企業の誘致。人吉・球磨地方、観光事業発展、地域ぐるみ ・外部から企業を取り入れ、町の活性化させ、資金の格差をなくす。主に工場系の仕事を増やし、雇用を確保する。 ・人口減少を食い止める、観光客を取り戻し、安定した税金を見込めること。 ・子供達が安心して仕事につけるよう企業誘致をする
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、被災してからの各家々の修復作業等を行う中で最も困ったのは、情報がとにかく統一感がなく、振り回された事でした。被災し様々な大切なものを失い、精神的にも体力的にも追い詰められる中もう少し他の人を思いやれる市民全員の意識改革が必要だと思います。 ・年配の人が多く、病院も多い人吉ですが障害をおってしまった年配の人、介護している家族も多いと思いますが、何かあった時の避難に関する所で、まるでいないかのような対応だと思います。 ・危険個所の居住制限。安全な避難所や駐車スペースを多数確保しておけば（車中避難）躊躇なく避難でき日々の安心につながる ・核家族化が進み、近隣に誰が住んでいるのか解らない事がある。地域の交流がもっと必要なのでは。 ・水質日本一の球磨川川辺川をいかに持続可能な開発目標にできるか。人吉球磨全体で考える問題では ・自分の住む土地をよく知る事。

問 27② 災害やコロナ禍の社会状況を踏まえたうえで、人吉の産業（観光業、商工業、農林水産業など）が活性化していくために特に必要なことは何だと考えますか。

	内容	詳細（一部抜粋）
1	観光業	<ul style="list-style-type: none"> ・外から人を呼ぶタイプの観光を期待できない部分はあると思います。でも、駅前をもう少し商業施設を強化したり高級リゾートホテルもいいのかなど。黒川温泉や湯布院など。商業は経済的な支援が必要かと。SNS で発信していくのも今どき必要でしょうね。文化・芸術も何とかしたいです。リモートで何かできればいいですね。 ・宿泊施設の多くが被災しており行政の手厚い支援で早い復旧をめざす。復旧後の観光PRを積極的に行い、観光客を呼び込む ・復旧、復興過程でも再び人々が訪れたり活用したりと思うプラス思考の情報発信。やれることから積極的にやらせる ・駅を中心に人吉だけではなく、球磨郡全体の特産品をアピールする場を設けて欲しい。駅から出ても青井神社しかないので観光地としての間口を広げて欲しい。また、人吉インター周辺の活用。商業施設等を建ててもいい。 ・観光産業の効果がたかいのでまずは、観光業の復興を最大限に支援してもらいたい。地域での活動をして欲しい。人吉はコロナ対策が出来ていないのでしっかりと対策を。
2	商工業	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む人吉球磨での地場産業の発展は期待できない。企業誘致を押し進め若者の流出を防ぐ事で活性化していくのではないかと ・テレワークとIT産業の強化

市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

		<ul style="list-style-type: none"> ・人吉には大きい会社や企業が非常に少ないのもう少し大企業等の誘致を積極的に進めて欲しい ・もう少し、資産・財産、上司の方々力を貸して下されば、空き家も少なくなり観光の方も増えて市民の顔も明るくなると思います。今の状態では元の市に戻るのは何年先か？ ・コロナで仕事がなくなり実家に帰りたくても人吉が災害で帰れない仕事がないからと言う理由でネットで出来る様な会社を人吉に増えたら若い方も残っていけないでしょうか。経済回して若い人達の人吉球磨で、豊かに生活が出来ていくこと。若い人達が築く環境が必要。少子化問題。 ・他の九州の観光地に負けない人吉のブランディング。ワーケーションなどの新しい働き方に対応し、人吉にきてもらうなど観光客だけでなく新しい未来ニーズを取り込む。
3	農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> ・人吉球磨の発展は農林業の発展なくして考えられない。もう一度農道整備、耕地整理、湿田の改良、機械化、IT化等若い農林業者と意見交換し大胆な施策を人吉にも優秀な若者、農林第一者はいますよ ・人吉は山々にかこまれた市です。森林をもっと利用し大きな産業はないのでしょうか。大きな会社がほしいですね。 ・農業が主となると思うので、大規模農業経営を中心とした町づくり。個々バラバラな感じがするので各方面とのコラボを行う。若い人のアイデアが必要だと思います。人吉の特産物件をもっと宣伝して魅力を知ってもらう。フォレストアドバンチャー自然を生かしたものを作って人を呼ぶ。 ・人吉の観光は川が美しいおかげです。田舎でほっとしたい人やラフティングに来る人が多いと思います。なので田舎の良さ、美しい自然や古い街並みを生かした街、森づくりをしてはどうですか。人吉球磨の木を使った和が生きている街づくり。そしてただの荒れた杉林ではなく、人吉球磨に元々生きている木を森に生やし素敵な森づくりをする。観光にも良いですよ。森の保水力も上がります。誰か他のをマネするのではなく人吉の良いところ人吉の個性をよく観察して発見し大切に育てていく事が大切。
4	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・何もしないのが一番駄目。なんでもいいからやってみる事が必要と思う。小さなことから取り組んでいいと思う。 ・コロナ禍を考えた上では、外資獲得も重要でしょうが、人吉市内でお金が回っていく仕組み作りが必要だろうと思います。 ・復興のアピール ・若い人達が集まって来てくれるような意見をたくさん出してくれる人達、人と人とのつながりも大事と思います。あとは外に向けた人吉のアピールどこにもない事など特性を生かした取り組みなど ・復旧・復興をよい機会とし方向性を一つにして、一丸となって取り組むことだと思います。お互いの良さを認め合い、一つ一つ成長していけたらと思います。「広報ひとよし10月号」(球磨川と共に創るみんなが安心して住み続けられるまち)がどのようにすすむのか、みんなで作ってあげたいです。この続きを楽しみにしています。 早急に受け入れ体制を整えて時期を見て7・4復旧割りを制定して頂きたい。

市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

問 27③ 災害に強く、災害に負けないまちにしていくために特に必要なことは何だと考えますか。

	内容	詳細（一部抜粋）
1	ハード対策	<ul style="list-style-type: none"> ・水が氾濫しても浸からない程度に土地の高さを上げる。もしくは堤防を氾濫しない高さで作る。又いつ起こるか分からない不安で安心して住めない ・球磨川への支流の砂利などを止める砂防ダム、治山、治水事業工事の対策 ・山には針葉樹（杉・ヒノキ）ではなく、広葉樹を植えて根張りを強くして保水力を上げる ・流木等が橋にひっかかり、水の流れをせき止めることで被害が広がるようだ。橋を高くする、川底の土砂を取る ・穴開ダムと河川の整備。大型特殊車輛の配備 ・今回では、災害対策ではなく減災対策を強化すべき。日本各地で災害が多発してる状況から他県に共助を求められる道路等の整備。 ・交通面が弱すぎる。道路が狭くガタガタしているところが多すぎる。 ・今回の災害の教訓にて陸の孤島にならない様物資が滞ることなく入るよう。 ・家のつくりを変える。テレビで水が浸水してきても浮力で浮く家の特集をしていました。基礎の部分と建物がケーブルでつながっていて水が入ってくると同時にどんどん地面から浮いて家を守るという仕組み ・すぐ避難できるような公園や建物を建設すること。 ・災害時にテント泊や車中泊ができるようなキャンプ場イベント会場の整備。 ・避難所をもっと設置。 ・森林伐採の後植木をする。河川整備 ・中心部を球磨川の南に移す ・高い堤防をのりこえて町中に水が流れこむ様子を見て住宅地の整備がなされればよいと思った。 ・治水対策、護岸工事、災害予測システムの強化 ・治水、地震対策の強化。ダムによるのか河川の底上げ。遊水地、堤防の強化。 ・道路の寸断、など市民の暮らしに最低限必要な施設への水害対策、もしくは移転。夜でも球磨川の状況がもっとはっきりわかるツールを作る。（現在の交通のライブカメラは夜も暗すぎてよくわからない。）山田川や胸川などの状況がもっとはっきりわかるとありがたい。 ・防災行政無線は風向きや家の中では聞き取りにくい。各住宅に無線塔の取り付け。 ・球磨川の流れを直流にする。カーブをなくす。
2	ソフト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・建物や橋などの強化。ハザードマップだけでなく、いざ災害が起きた時に避難するための具体的な通路を示す。（例えば、〇〇地区は△△を通過して□□へ避難してくださいなど。） ・行政まかせでなく、住民が自主的に遭難し。避難所で運営し、お互いに助け合う環境づくり。意識付けをしていかなければいつまでも災害に強い町にならないと思う ・しかしたらと最大限の危険予知を行う。平和ボケしすぎている。防災に対する意識の強化。 ・町内のまとまり。町内等で日頃から防災訓練等する。

市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の災害を教訓として、その地域に合った避難の訓練や話し合いを町内ごとに出来たら良いと思います。このような災害は起きてほしくないですが、風化しないようにしなくてはいけないですね。 ・今回の経験を活かす、伝える ・人吉は特に高齢者が多い地域だから近所の人同士で声を掛け合っていくことが必要だと思う ・ハザードマップの整備と土地活用 ・ハザードマップの新たな作成をする。これまでよりも厳しい目で危険なところを再確認し、充点的に対処し市民にも広く知られるように見やすいマップを配る様願っています。市民の皆様も意識がかわり、しっかりマップを活用するのではないのでしょうか。 ・場所場所で問題は違うのでそれぞれにあったことをしてほしい。 ・すぐすぐには考えられないが時間をかけ今回の災害を教訓に、あらゆる話し合いの場で意見交換をしていったらいいと思う。 ・常に危機感を持ち、地域内のまとまり。消防団ばかりに頼らず、他の組織強化。 ・防災拠点の整備。 ・公助は大前提として(自助)の考え方を市民に定着してもらうことが必要だと考える。そのために、災害のロードマップを1人1人が必ず確認する事を呼び掛け、またAIを使った災害シュミレーションでよりリアルな防災訓練をすべきだと考える。市民1人1人が災害をいかに身近に感じ備えるかがもっとも重要だと考える。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・球磨郡は基本的には平和が長く続いた土地であり、今回の災害には最初何をしていたのか行政も人々もわからなかったのではないかとおもいます。そういうときは専門家を呼び協力を乞うことです。つまり重い荷を単独でしよわないこと。 ・復興に向けてまずは、学者の意見ではなく住民の意見を第一に出来る事からとりかかる。各方面のトップの意見、行動が大事だと考える（良識あるもの） ・今回は水害。国や市はダム建設の方に比重があると思いますが、川底を掘ったり、川を広げたりして自然をなるべく残したいです。頭のかたいおえらいさんたちが集まって話すのもいいですが、中・高生に声を聞いたり古い話しばかりせず、若い人の柔軟な意見も聞いた方がいいと思います ・行政の危機管理の意識を強く持ってほしい。災害時の土砂を含む災害ゴミの置き場所の確保すらしていなかった。袋がないのに「分別しろ！」車がないのに「持って来い！」等、要求ばかりで気力すら失ってしまった。 ・まず、災害が起こった時から、その後の伝達方法を、SNSやインターネット、放送、広報以外で考えて頂きたいです。実際、携帯電話が使えない、放送もよく聞こえない、郵便物も受け取れない中では、あちこちでがれきを置く場所や置き方、回収について等の話が食い違い人が採める素になってました。

市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

問 27④ 上記以外で、復旧・復興に向けたまちづくりについて、ご意見、ご要望、ご提案がございましたらお聞かせください

	内容	詳細（一部抜粋）
1	心のケア	<p>・ダムを作る作らないの議論よりも、まずは目の前の出来ること。川をきれいにしてほしい。河床掘削と堤防の修復。被災者の高齢の御夫婦の通院、買い物のタクシー代の悩みを知りました。保育サポーターの様な登録をして出来る時に出来る人が自家用車で送り迎えをしてさしあげる事はできないものかしらと思いました。お互いに助け合い、被災前よりもっと良い豊かな町作りを期待します。子供たちへ未来を残して！お疲れ様です！被災者に限らずこれから心のケアも必要になるのではと思います。</p> <p>・人生の最終章に大変な物があたってという気持ちで数日考え悩みました。課題に具体的に書けません。提出しないのは被災者の方々に申し訳ないと考えました。災害が起きてからいろいろ考えた事をいくつか書いてみます。私の友人も大きな被害を受けました。数日経ってからお会いしたり、電話したりした時、前向きな話を聞き私が救われたものです。今迄の思い出諸々が流されたのにと泣きました。いろんな復旧の中で、ぜひ被災者の声を大事にしてください。コロナ禍の中でボランティアの手配は大変だったと思います。放送で流される中に「〇〇まで取りに来て下さい」「ダンプのついてるような車で運んでください」というようなアナウンスがありました。もっと行政が中心にたった計画であってほしいなと毎回思いました。弱いものを大切にし、耳をかたむけてください。</p> <p>・なにがたりないか。してもらいたいことや一人一人聞いてもらいたいですね。</p> <p>・避難所・仮設住宅におられる人ばかりが被災者ではないという事を理解していただきたい。</p> <p>・私達は相良町に越してきて2年半。近所の方々は絶対に水はここまで来ないと信じて疑わず、避難してない方がほとんどだった事に驚きました。もうあと数センチ水が深ければ亡くなった方はもっとおられたはず。いくらダムを作り、ハード面を強くしても人が変わらなければ、被害者は減らない。こわい思いをされた方のメンタルが回復され、これからの人吉を皆で考えていけるようになる事を願います。</p> <p>・被災した方と被災していない方では地域差があり、その両者は気持ちを分かり合えないことを今回感じた。被災していない人にとってどこか他人事であるんだと思った。災害のむごさを両者に知ってもらう場を取り入れ、協力して前を向くような体制を作ってほしいです。</p>
2	まちづくり	<p>・できる所があれば、これを機に区画整備ができると良いのでは？（道を広げるとか）。国の補助をどんどん使えるものは使うべき。</p> <p>・今回の豪雨災害を踏まえこれを機に市町村合併へ。人吉球磨は一つという発想から、復興は考えるべきだと思う。</p> <p>・屋台祭りなど九日町市内に人を呼ぶ、モニュメントを行う。色んなグランプリを行う。</p> <p>・1つの方策として、市街地に高層の高齢者住宅を整備するスマートシティ</p> <p>・自動運転の特区等を考えた道路・地域の整備。</p> <p>・古い家、店が多かったなので、この改築を機にレトロモダンな人吉らしい町並みにして、観光地としてより魅力的になったらいいと思う。</p>

市民アンケート調査 集計結果【11月24日時点】

		<ul style="list-style-type: none"> ・今は市は良くやっていると思う。これから先の事を考えると、もっと若い世代で考えれる為に若者が離れない町づくりをすること。何十年先の人口が増え地域活性化できる対策がまず必要。これからの子供達にも意思が引きつがれる対策。 ・観光も大切だが、遊戯施設も少ない。その結果若い人がいなくなり伝統や技術を残しづらい。
3	提案	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧に関しては優先順位を明確に。市民が納得できる説明を示して取り組んでほしい。 ・災害の教訓を次世代につなぐという事で今回浸水した深さの標示を公民館や電柱、市の施設に取り付ける（イエローライン） ・街灯を早急につけてほしい。防犯上でも必要であるが暗いと余計に気分が落ち込む。 ・大学、専門学校の誘致（若者を集客）シルバータウンの推進。 ・作業をする時に子どもがいると作業ができないので、無償で預かってもらえる施設が欲しい。 ・天災には、ハード面にいくらお金をかけても被害は止められません。しかし、そこに住む住民が一つになってその被害はさらに小さくできると思います。日頃からの防災対策を取りながら自然を生かした観光を行う事です。
4	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい状況ですが、必ず前よりも良い人吉に戻ることを切実に望みます。 ・しっかり考え実行してください。お願いします。 ・「ああしてもらいたい」「こうしてもらいたい」と言うのは簡単な事ですが、全ての事を行うには全部お金（税金）が掛かります。市民は要求するばかりではなく、地道に少しずつ人吉市を再建していくしかないと思います。 ・支援は必要だが人吉はお金がない。後々市民の税金があがるような後先考えない支援はしないでほしい。市役所の方々が一番忙しく大変な時だと思います。避難所の方々も大変ですが、市の職員さんもしっかり交替でお休みを取って、お身体に気をつけてください。 ・市役所の職員の方々は、今も大変だと思います。体調を崩されない様にして下さい。色々な面でご苦労されています。ありがとうございます。